ビクセン製品ご相談窓口のご案内

ビクセン製品につきましてお問い合せ、ご相談（製品の使い方、お買い物相談、修理依頼など）がございましたら、お買い上げの販売店または下記窓口までお問い合せください。なお、修理をご依頼される際は、もう一度**本書（説明およびFAQなど）をご覧になり、故障かどうかをよくご確認ください。**それでも正常に動作しない（不具合と思われる）場合は、

① 商品名　② お買い上げ日　③ 症状または内容　を具体的にご連絡ください。

1. 弊社ホームページからお問い合わせ

お問い合わせ窓口はこちらから　**http://www.vixen.co.jp/contact/index.htm**

WEBページの構成変更等によりリンク切れが起る場合は、トップページ(**http://www.vixen.co.jp/**)よりお進みください。

2. お電話によるお問い合わせ

カスタマーサポートセンター　電話番号：**04-2969-0222**（カスタマーサポートセンター専用番号）※1

受付時間： 9:00～12:00・13:00～17:30※2（土・日・祝日、夏季休業、年末年始休業など弊社休業日を除く）

※1：都合によりビクセン代表電話に転送されることもございます。また、お電話によるお問合せは時間帯によってつながりにくい場合もございます。
お問い合わせにスムーズに回答させていただくためにも、"1.弊社ホームページからお問い合わせ"にてご用意しているお問い合わせメールフォームのご利用をお薦めいたします。

※2：受付時間は変更になる場合もございます。弊社ホームページなどでご確認ください。

株式会社ビクセン　〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
[代　表] TEL：04-2944-4000　FAX：04-2944-4045
[ホームページ] http://www.vixen.co.jp

62キ-12-(80000134)-(M)

Vixen
AP赤緯体ユニット取扱説明書

はじめに

このたびは「AP赤緯体ユニット」をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書は、「AP赤緯体ユニット」の取扱説明書です。
ご使用にあたり、赤道儀や他モジュールなど併用する機器の説明書も併せてお読みください。

本製品はAP赤道儀シリーズにご使用いただくパーツの一つであり、単体ではご使用になれません。
AP赤道儀等とともにご使用ください。

◎セット内容の確認

本製品には以下のものが入っています。
内容をお確かめください。

◎ AP赤緯体ユニットのセット内容

① AP赤緯体ユニット本体
② ネジ ： M5×25mm (4本)
③ 六角レンチ4mm
④ AP赤緯体ユニット取扱説明書（本書）
⑤ 保証書（電子機器1年、機械パーツ5年）

※セット（ウェイト軸とのセット等）でお買い求めの場合は内容明細が異なることがあります。
電池は含まれておりません。市販品をお買い求めください。

モジュールについて

AP赤道儀は各部がモジュールで構成されており、目的に合わせて組替えることができます。

AP赤緯体、赤経モーターモジュール、赤緯モーターモジュールは内部接点を装備しており、接続すると相互通電します。

電源は赤緯体により電池から供給できる他、赤経モーターモジュールの併用により、USB出力付外部電源（市販品）からでも供給できます。（USB Micro-B端子対応）

組み込み方

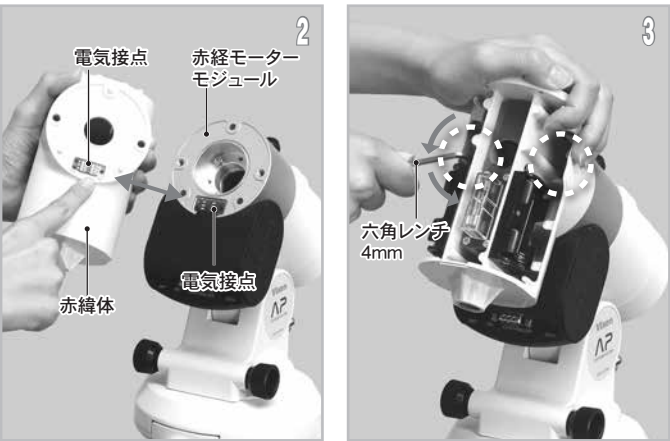
赤経モーターモジュールが組み込まれた状態から、二軸モーター仕様赤道儀（AP-D2Mマウント）を組むまでの流れを例に説明しています。
※都合により、赤経モーターモジュールなど、本製品に含まれないパーツも掲載していますがご了承ください。

1 赤経モーターモジュールに赤緯体を取付けます。
まず、赤緯体のカバーを取外し、赤道儀に取付けできるようにします。
赤緯窓を指で下向きにスライドして開けた状態とします①。写真のように窓に指を入れてひっかけ、ツメを持ち上げながらまっすぐ引き抜きます②。

ⓘ 注意

あまり指を深く入れないでください。指が抜けにくくなる恐れがあります。

2 赤緯体の電気接点と赤経モーターモジュールの電気接点を合わせて赤緯体をはめ込みます。

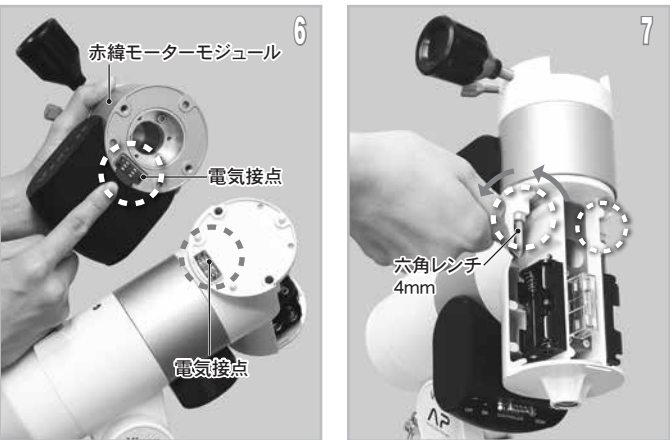
3 赤緯体を落とさないように手で支えながら、付属のネジ2本（M5×25mm）をねじ込んで固定します（写真参照）。
六角レンチ4mmでゆるまないようにしっかり固定してください。

ⓘ 注意

赤緯体の電気接点は大変デリケートですので、手を触れたり他のもので干渉したりしないように十分ご注意ください。

4 写真を参考に、赤緯モーターモジュールの電気接点がある面を外側にして、APクランプ筒受ユニットの突起をはめ合わせます。

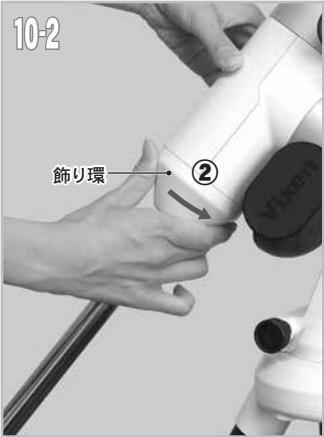
5 位置関係を調整してネジを通す穴（ネジ切りのない大きいほうの穴）の位置を合わせた後、赤緯モーターモジュールに付属の3本のネジで固定します。六角レンチ3mmでゆるまないようにしっかり固定してください。

6 赤緯モーターモジュール（筒受を組込済）のくぼみと赤緯体の電気接点を合わせてはめ込みます。
注意：赤緯体の接点は大変デリケートですので、手を触れたり他のもので干渉したりしないように十分ご注意ください。

7 写真を参考に、赤経モーターモジュールを落とさないように手で支えながら、赤緯体に付属のネジ2本（M5×25mm）を通して固定します。六角レンチ4mmでゆるまないようにしっかり固定してください。

8 ツメの向きに注意して赤緯体カバーを元通りに取付けます。

9 ウェイト軸に飾り環をねじ込みます。完全にねじ込んだ状態から1回転程度戻した状態にしてください。

10 ウェイト軸を赤緯体にねじ込んで取付けます。
ウェイト軸のネジを深くまでネジ込み、最後に飾り環をしめます。ゆるまないようにしっかりしめてください。

11 以上で組込み完了です。必要に応じてウェイトや鏡筒などを取付けてご使用ください。

ご使用方法

電池の入れ方

単三乾電池4本を使用します。単三アルカリ乾電池または単三型Ni-MH、Ni-Cdなどの充電池を推奨します。
※一軸モーター仕様赤道儀（AP-SMマウント）で説明しています。

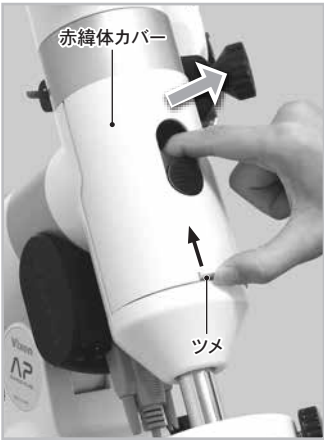
1 赤緯体カバーを取外します。
赤緯窓を指で下向きにスライドして開けた状態とします。写真のように窓に指を入れてひっかけ、ツメを持ち上げながらまっすぐ引き抜きます。

① 注意

あまり指を深く入れないでください。指が抜けにくくなる恐れがあります。

2 ±（プラスマイナス：極性）に注意しながら、単三乾電池を４本セットします。

3 赤緯体カバーを元に戻します。ツメを下にしてまっすぐ押し込んでください。

※電池が消耗（電源電圧が低下）すると、STAR BOOK ONE コントローラーの画面表示が点滅します。この場合、新しい電池（または充電済みの電池）と交換してください。

ヒューズについて

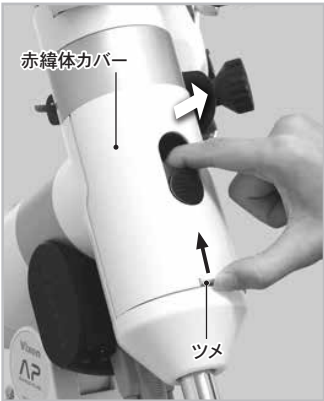
※一軸モーター仕様赤道儀（AP-SMマウント）で説明しています。

AP赤道儀では、何らかの原因で基板に過電流が流れた際に回路を保護するため、ヒューズを設けています。通常のご使用でヒューズが切れることは極めて稀ですが、切れた場合は交換が必要です。

対応ヒューズ仕様
125V　1A　B種（PSE規格）
φ6mm×30mm

ヒューズ交換方法

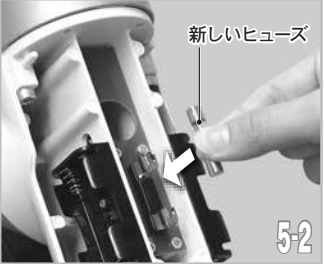
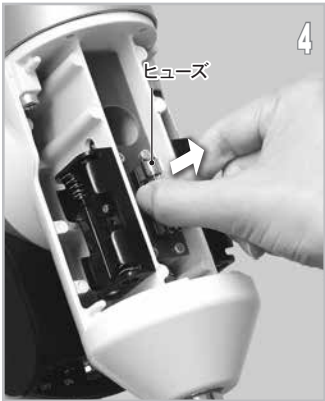
1 赤緯体カバーを取外します。
赤緯窓を指で下向きにスライドして開けた状態とします。写真のように窓に指を入れてひっかけ、ツメを持ち上げながらまっすぐ引き抜きます。

① 注意

あまり指を深く入れないでください。指が抜けにくくなる恐れがあります。

2 電池を取外します（電池をセットしている場合）
電池をセットしたまま作業すると故障の原因となる場合があります。電池を取外してから作業してください。

3 ヒューズカバーを取外します。

4 ヒューズの中心付近をつまんで引き抜きます。

5 新しいヒューズを押し込み取付けます。

6 ヒューズカバーを取付け、また必要に応じて電池をセットします。

7 ツメの向きに注意して赤緯体カバーを元通りに取付けて完了です。

仕様

◎スペック　　仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

仕様	AP赤緯体ユニット
電池	単三電池×4本 （単三アルカリ乾電池、Ni-Cd電池、Ni-MH電池を推奨）
対応ヒューズ	125V　1A　B種（PSE規格） φ6mm×30mm
大きさ	124.5×81×78mm（突起部を除く）
重さ	490g（電池別）